

1. 平成 26 年度 事業結果概要

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

<公益目的事業>

(1) ニゴロブナ増殖事業 (事業費 40,771,217 円)

ニゴロブナ資源の回復を図るため、以下を行った。

1. 卵、ふ化仔魚 19,999 千尾(ふ化仔魚換算値)を 5 月 12 日から 6 月 7 日にかけて琵琶湖周辺の水田 558 反に放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に平均全長 25mm に成長した稚魚 11,399 千尾を琵琶湖へ流下させた。(県補助事業)
2. 県が実施する内湖生産機能回復試験のため、ふ化仔魚 2,101 千尾を 5 月 28 日から 31 日にかけて赤野井湾周辺の水田 52 反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では 714 千尾が流下した。(受託事業)
3. 体重 18g の大型種苗 822 千尾を栽培漁業センター及び草津市北山田地先筏施設で生産し、9 月から 3 月にかけて琵琶湖全域に放流した。(県補助事業)

大型種苗生産に供する 4 月の採卵が不調で、予定量の卵を得ることができず、これが大型種苗生産の不調の主因となった。5 月以降の採卵は順調であった。

4. 滋賀県漁連より体重 13g の大型種苗 114 千尾を購入し、10 月 7 日に琵琶湖に放流した。(独自事業、一部寄付金充当)
5. 放流の効果を把握するため、種苗の一部に ALC 標識を付け放流した。春・冬季に漁獲魚の標識調査を行った。(県補助事業)

冬季漁獲物標識調査による放流魚の混獲率は 39%と推定された。昨年度の 31%よりやや上昇した。漁獲魚は 3 才、4 才が主であった。

6. 各種団体が放流等に供する種苗 2,797 千尾を販売した。(独自事業)

	実績		計画	
1. 水田放流(流下数)	25mm	11,399 千尾	20mm	8,000 千尾
2. 赤野井周辺水田放流 (ふ化仔魚数)		2,101 千尾		2,000 千尾
3. 大型種苗生産放流	18g	822 千尾	20g	900 千尾
4. 大型種苗購入放流	13g	114 千尾	20g	50 千尾
5. 標識調査(混獲率(調査尾数))				
春季漁獲物	35%	(192 尾)		
冬季漁獲物	39%	(1,009 尾)		
6. 種苗販売		2,797 千尾		3,000 千尾

(2) ホンモロコ増殖事業 (受託事業、事業費 25,940,459 円)

ホンモロコ資源の回復を図るため、以下を行った。

1. 卵、ふ化仔魚 28,540 千尾(ふ化仔魚換算値)を 5 月 3 日から 6 月 6 日にかけて琵琶湖周辺の水田 871 反に放養し、約 1 ヶ月後の中干し時に平均全長 28mm に成長した稚魚 8,353 千尾を琵琶湖へ流下させた。
2. 県が実施する内湖生産機能回復試験のため、ふ化仔魚 2,031 千尾を 5 月 20 日から 22 日にかけて赤野井湾周辺の水田 65 反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では 108 千尾が流下した。
3. 平均全長 24mm の稚魚 1,006 千尾を草津市北山田地先筏施設で生産し、6 月 30 日から 7 月 5 日にかけて南湖に放流した。
4. 次年度の採卵用として 2.8 トンの親魚を生産した。

	実績		計画	
1. 水田放流(流下数)	28mm	8,353 千尾	20mm	8,000 千尾
2. 赤野井周辺水田放流(ふ化仔魚数)		2,031 千尾		2,000 千尾
3. 南湖種苗放流	24mm	1,006 千尾	20mm	1,000 千尾
4. 親魚生産		2.8 トン		3 トン

(3) 人工河川管理運用事業 (受託事業、事業費 30,852,289 円)

アユ資源の維持、培養を図るため、以下を行った。

1. 平均体重 30g の養成親魚 8 トンを 8 月 25 日から 9 月 8 日にかけて安曇川人工河川に放流した。
2. 姉川において天然親魚 2 トンを特別採捕し、9 月 10 日から 9 月 19 日にかけて姉川人工河川及び近隣の常水河川に放流した。

天然親魚放流量の当初計画は 4 トンであったが、8 月の出水時に遡上した後は大きな遡上はなく、採捕計画を 2 トンに変更した。両人工河川の合計のふ化仔魚流下尾数は 18.3 億尾であった。

	実績	計画
1. 養成親魚放流	8 トン	8 トン
2. 天然親魚放流	2 トン	2 トン

(4) 湖づくり活動支援事業 (事業費 3,677,109 円)

固有在来魚類の資源回復を図り、多様な琵琶湖の生態系を保全するため、以下の事業を行った。

1. 栽培漁業センターで平均全長 48mm のワタカ種苗 104 千尾を生産し 3 月に南湖に、平均全長 56mm のワタカ種苗 13 千尾を生産し 6 月に彦根地先に放流した。このほかに 131 千尾を 8 月に漁連へ譲渡した。(受託事業、独自事業 (寄付金充当))

ワタカ種苗放流の当初計画は 290 千尾であったが、飼育初期に大量に斃死し、年度途中で達成が困難と判明したため、種苗放流の計画を 130 千尾に変更した。

2. 放流の効果を把握するため、種苗の一部に標識を付け放流した。漁獲魚の標識調査を行った。(受託事業)
3. ワタカ種苗 31 千尾を各種団体に販売した。内 20 千尾は彦根市地先に放流された。(独自事業)

	実績		計画	
1.ワタカ種苗放流	49mm	117 千尾	50mm	130 千尾
種苗譲渡		131 千尾		150 千尾
2.標識調査(混獲率(調査尾数))	73% (576 尾)			
3.ワタカ種苗販売		31 千尾		120 千尾

(5) セタシジミ増殖実証事業 (事業費 4,166,458 円)

セタシジミ資源回復を図る技術開発を行うため、実証事業を行った。

1. セタシジミの親貝 632kg を琵琶湖で採捕し、肥満度を上げるため富栄養な西の湖で養成した。垂下期間中(平成 25 年 11 月から平成 26 年 5 月)の肥満度は 3%から 6%に増加した。
2. セタシジミの肥満度、稚貝の生息状況などを滋賀県水産試験場と共同で調査した。6 月に西の湖より琵琶湖へ親貝を移植垂下し、産卵、稚貝の生息状況を確認した。垂下後の肥満度調査で、産卵を確認した。8 月の調査では、垂下場所周辺で、1m²あたり 200 個の稚貝を確認した。

	実績	計画
1. セタシジミ親貝飼育(購入重量)	632kg	500kg
2. セタシジミ放流効果調査	肥育、産卵、稚貝調査	肥育、産卵、稚貝調査

(6) 産卵繁殖場保全事業 (事業費 2,797,176 円)

滋賀県が整備した産卵繁殖場および天然の産卵繁殖場の保全管理に努めることで、琵琶湖の生態系の維持、保全を図るため、以下を行った。

1. 沿岸漁業整備開発事業により沿岸域に設置された 19 箇所を増殖場及び南湖の砂地造成漁場について、施設の破損等や集魚状況の確認、標識灯の太陽電池パネルの清掃、雑木の伐採及び水草の除去等を行い、施設の機能維持と湖上事故防止に努めた。(受託事業)

増殖場は 4 月から 9 月は月 2 回、10 月から 3 月は月 1 回の管理、砂地造成漁場は年 1 回保全活動を行った。また、下笠地区造成水ヨシ帯のゴミ止めフェンスで脱落したもの、脱落の恐れのあるものを撤去、処分した。

2. 漁業者や地域の住民等が行う効果的・効率的な多面的機能の発揮に資する活動の推進に資することを目的として設置された協議会の運営にかかる経費の管理を行うとともに活動組織への交付金の交付を行った。(受託事業)
3. 琵琶湖の産卵繁殖場にてニゴロブナ、ホンモロコの再生産を促し、資源の維持、増殖を図るため、草津市、守山市、野洲市、近江八幡市、東近江市、彦根市、米原市、長浜市、高島市の産卵繁殖場の産卵、生育状況調査を行った。(独自事業)

産卵期には水田の水路には多くのニゴロブナ親魚が見られたが、水路から水田の間には落差があり、親魚が遡上した水田は少なかった。湖岸のヨシ水草帯ではコイ又はフナの卵、仔稚魚が確認された。

	実績	計画
1.沿整増殖場等管理点検	20 箇所	20 箇所
2.水産多面的機能発揮対策協議会運営の支援	会計事務の支援	会計事務の支援
3.産卵繁殖場の調査	9 箇所	5 箇所
標識調査(混獲率(調査尾数))	33%(159 尾)	

(7) 水産加工業振興対策事業 (事業費 482,972 円)

加工業の振興発展と経営の安定化に資するため、水産加工業者が原材料の安定的な確保、新製品の開発、普及宣伝活動等を行うための活性化資金を貸付けた。(独自事業)

1. 「水産加工業振興対策資産」2億円を滋賀県水産加工業協同組合に貸し付けた。

	実績	計画
1. 水産加工業協同組合資金貸付 貸付額	H26年度から3ヶ年間 2億円	H26年度から3ヶ年間 2億円

(8) 情報提供事業 (事業費 223,067 円)

協会の活動を広く一般に周知し、漁業者に栽培漁業の普及啓発を行うため、以下を行った。(独自事業)

1. 「協会ニュース」を発行し、放流事業結果を公開した。
2. インターネット上のホームページにおいて、放流事業結果、事業計画、決算内容等を公開した。
<http://www.ex.biwa.ne.jp/~fishlake>
3. ニゴロブナ、ホンモロコの漁獲量アンケート調査は、回収数が少なく、新たな配布は行わなかった。

	実績	計画
1.協会ニュース発行	150部	150部
2.ホームページ	随時更新	随時更新
3.漁獲量アンケート調査(配布数)	0枚	2,000枚

(事業結果の詳細)

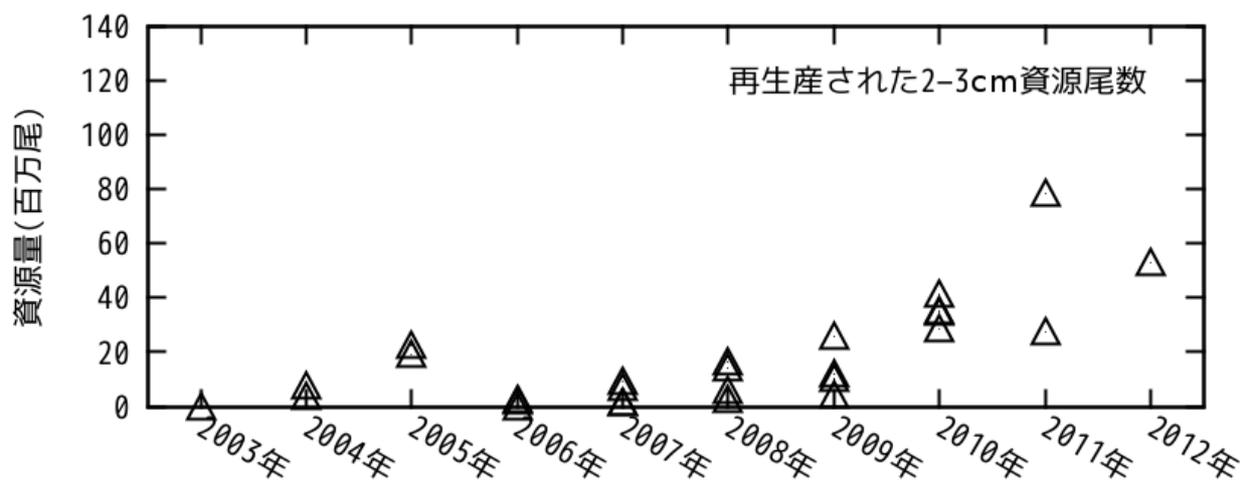
(1) ニゴロブナ

ア ニゴロブナ場所別、サイズ別放流尾数

区分	放流日	放流場所	放流魚		標識魚	
			体型	尾数(千尾)	体型	尾数(千尾)
水田放流						
	5/12-6/7	琵琶湖一円	25mm	11,399	25mm	3,730
	5/19,20	西の湖周辺	ふ化仔魚	2,101	ふ化仔魚	2,101
2cm 種苗						
	6-7月	南湖岸	0.16g	67		0
大型種苗						
	9/15-10/30	南湖	18.3g	493	15.5g	111
	1/29-3/11	南湖	16.9g	109	16.9g	109
	11/26,28	北湖沖	16.8g	115	16.8g	115
	10/9-11/4	西の湖岸	18.3g	58		0
	10/7-11/7	北湖岸	14.2g	162		0
	小計		17.3g	937	16.4g	335

イ 年度別の再生産されたニゴロブナ2~3cmサイズの資源尾数

2010年(平成22年)頃から天然再生産の明確な増加が見られる。



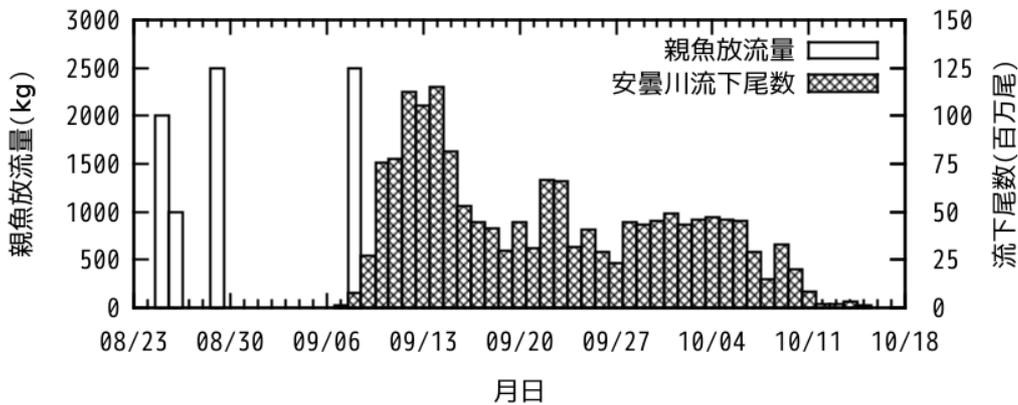
(2) ホンモロコ

ホンモロコ場所別、サイズ別放流尾数

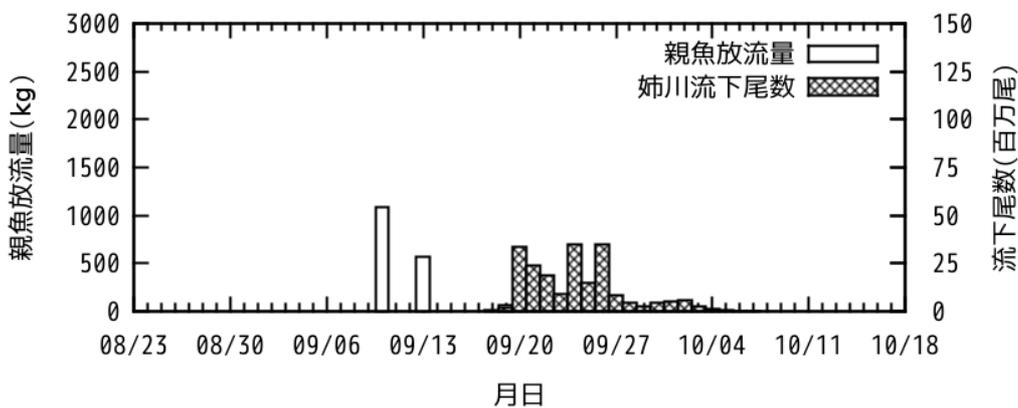
区分	放流日	放流場所	放流魚		標識魚	
			体型	尾数(千尾)	体型	尾数(千尾)
水田放流						
	5月	高島市マキノ町		1,625		419
	5月	高島市新旭町		4,194		1,079
	5月	高島市安曇川町		467		69
	5月	長浜市		1,104		354
	5月	西の湖		505		116
	5月	草津市		457		136
	小計		28mm	8,353	28mm	2,174
西の湖周辺水田放流						
	5/20-22	西の湖周辺	ふ化仔魚	2,031	ふ化仔魚	2,031
2cm 種苗放流						
	6/30-7/5	草津市地先	24mm	1,006	24mm	1,006

(3) アユ

放流量と流下尾数
(安曇川人工河川)



(姉川人工河川)



貸借対照表

平成27年 3月31日現在

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,970,229	4,986,551	-1,016,322
有価証券	1,156,140	881,954	274,186
未収入金	6,485,149	2,521,100	3,964,049
流動資産合計	11,611,518	8,389,605	3,221,913
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	11,000,000	0
(2) 特定資産			
鮎資源対策積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	45,641,860	42,882,570	2,759,290
温水魚資源対策積立資産	939,825,879	958,925,879	-19,100,000
水産加工業振興対策資産	200,000,000	200,000,000	0
特定資産合計	1,195,467,739	1,211,808,449	-16,340,710
(3) その他固定資産			
建物	243,986,375	243,986,375	0
構築物	321,936,405	321,936,405	0
車両運搬具	2,860,000	2,860,000	0
什器備品	104,197,248	104,197,248	0
船舶	7,700,000	7,700,000	0
減価償却累計額	-517,530,784	-504,806,463	-12,724,321
リース資産	0	533,610	-533,610
電話加入権	257,227	257,227	0
その他固定資産合計	163,406,471	176,664,402	-13,257,931
固定資産合計	1,369,874,210	1,399,472,851	-29,598,641
資産合計	1,381,485,728	1,407,862,456	-26,376,728
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,127,721	6,568,092	3,559,629
預り金	396,240	388,994	7,246
流動負債合計	10,523,961	6,957,086	3,566,875
2. 固定負債			
リース債務	0	533,610	-533,610
退職給付引当金	45,641,860	42,882,570	2,759,290
固定負債合計	45,641,860	43,416,180	2,225,680
負債合計	56,165,821	50,373,266	5,792,555
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,160,825,879	1,179,925,879	-19,100,000
(うち基本財産への充当額)	11,000,000	11,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	1,149,825,879	1,168,925,879	-19,100,000
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	164,494,028	177,563,311	-13,069,283
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	1,325,319,907	1,357,489,190	-32,169,283
負債及び正味財産合計	1,381,485,728	1,407,862,456	-26,376,728

正味財産増減計算書内訳表

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[79,000]	[79,000]	[158,000]
基本財産受取利息	79,000	79,000	158,000
特定資産運用益	[14,759,865]	[0]	[14,759,865]
特定資産受取利息	14,759,865	0	14,759,865
受取補助金	[17,107,503]	[4,072,726]	[21,180,229]
ニゴロブナ栽培漁業推進事業費補助金(県)	12,941,274	4,072,726	17,014,000
二枚貝資源緊急増殖対策事業補助金(国)	2,083,000		2,083,000
マサシ親貝放流技術開発事業費補助金(県)	2,083,229		2,083,229
受取受託費	[60,284,120]	[0]	[60,284,120]
ホンモロコ資源回復対策事業受託費	16,000,000		16,000,000
沿整増殖場管理点検事業受託費	1,932,120		1,932,120
赤野井湾エコロブナ・ホンモロコ種苗放流事業受託費	3,500,000		3,500,000
南湖ホンモロコ標識種苗放流事業受託費	4,000,000		4,000,000
人工河川管理運用事業受託費	30,852,000		30,852,000
ワタカ種苗生産放流事業受託費	3,000,000		3,000,000
水産多面的機能発揮協議会運営事業受託費	800,000		800,000
種苗放流に係るモニタリング調査業務受託費	200,000		200,000
受取負担金	[3,000,000]	[0]	[3,000,000]
受取分担金	3,000,000		3,000,000
受取寄付金	[20,800,000]	[0]	[20,800,000]
受取寄付金	1,700,000		1,700,000
特定資産取崩額	19,100,000		19,100,000
雑収益	[3,010,705]	[0]	[3,010,705]
受取利息	2,105		2,105
雑収益	3,008,600		3,008,600
経常収益計	119,041,193	4,151,726	123,192,919
(2) 経常費用			
事業費	[132,110,476]	[0]	[132,110,476]
役員報酬	2,717,880		2,717,880
給料手当	35,800,029		35,800,029
臨時雇賃金	4,437,549		4,437,549
福利厚生費	6,862,296		6,862,296
旅費交通費	279,172		279,172
通信搬費	436,608		436,608
原材料費	21,183,140		21,183,140
消耗品費	5,944,171		5,944,171
秋稚魚購入費	3,000,000		3,000,000
修繕費	3,483,219		3,483,219
燃料費	1,026,083		1,026,083
光熱水料費	9,227,278		9,227,278
賃借料	4,511,029		4,511,029
保険料	598,743		598,743
租税公課	140,200		140,200
支払負担金	5,378,064		5,378,064
手数料	49,281		49,281
委託費	9,802,310		9,802,310
衛生費	41,111		41,111
消費税	1,913,393		1,913,393
退職付費用	2,621,325		2,621,325
減価償却費	12,657,595		12,657,595

科 目	公益目的会計	法人会計	合 計
管 理 費	[0]	[4,151,726]	[4,151,726]
役 員 報 酬		844,470	844,470
給 料 手 当		1,878,193	1,878,193
福 利 厚 生 費		424,650	424,650
会 議 費		28,962	28,962
交 際 費		25,080	25,080
旅 費		136,118	136,118
通 信 運 搬 費		11,700	11,700
消 耗 品 費		10,649	10,649
修 繕 費		713	713
燃 料 費		660	660
光 熱 水 料 費		11,697	11,697
賃 借 料 費		1,710	1,710
保 險 料		788	788
租 税 公 課		1,200	1,200
支 払 負 担 金		218,995	218,995
手 数 料		5,877	5,877
嘱 託 料		316,440	316,440
委 託 費		2,090	2,090
衛 生 費		2,905	2,905
雑 費		24,138	24,138
退 職 給 付 費		137,965	137,965
減 価 償 却 費		66,726	66,726
經常費用計	132,110,476	4,151,726	136,262,202
評価損益等調整前当期經常増減額	-13,069,283	0	-13,069,283
評価損益等計	0		
当期經常増減額	-13,069,283	0	-13,069,283
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	0	0	0
退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-13,069,283	0	-13,069,283
一般正味財産期首残高	177,563,311	0	177,563,311
一般正味財産期末残高	164,494,028	0	164,494,028
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	-19,100,000		-19,100,000
当期指定正味財産増減額	-19,100,000		-19,100,000
指定正味財産期首残高	1,179,925,879	0	1,179,925,879
指定正味財産期末残高	1,160,825,879	0	1,160,825,879
III 正味財産期末残高	1,325,319,907	0	1,325,319,907

財産目録

平成27年 3月31日現在

公益財団法人 滋賀県水産振興協会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)					
(流動資産)	現金 普通預金	手元保管 滋賀銀行下笠支店 関西アーバン銀行草津西支店 大和ネクスト銀行ホテイ支店	運転資金として 22,212 運転資金として 3,392,181 運転資金として 555,826 運転資金として 10 〈現金・預金計〉 3,970,229		
	未収金	滋賀県補助金等 滋賀県農政水産部水産課	公益目的事業(補助金等)の未収金 (9件) 〈未収金計〉 6,485,149		
	有価証券	投資信託 野村證券(株)大津支店	運転資金として 〈有価証券計〉 1,156,140		
流動資産合計			11,611,518		
(固定資産)					
(固定資産)	基本財産				
	投資有価証券	投資有価証券他 普通預金 国債 政府関係機関債	滋賀銀行下笠支店 野村證券(株)大津支店 SMBC 日興証券(株)京都支店	公益目的保有財産であり、管理業務にも 使用している共有保有財産である。(運 用益の50%を公益目的事業・50%管理運 営の財源として使用している。) 1,700 10,000,000 998,300 〈基本財産計〉 11,000,000	
特定資産	退職給付引当 資産	普通預金 大口定期 国債	滋賀銀行下笠支店 関西アーバン銀行草津西支店 野村證券(株)大津支店	職員退職金の財源として積み立ててい る。 45,641,860 (5,641,860) (30,000,000) (10,000,000)	
	鮎資源対策 積立資産	国債	野村證券(株)大津支店	鮎資源対策事業の積立資産である。 公益目的保有財産 満期保有目的で 保有し、運用益は公益目的事業の財源 として使用している。 10,000,000 (10,000,000)	
	温水魚資源 対策積立資産	社債 地方債 外国債	SMBC 日興証券(株)京都支店 " "	温水魚資源対策事業の積立資産である。 公益目的保有財産 満期保有目的で 保有し、運用益は公益目的事業の財源 として使用している。 939,825,879 (199,940,000) (99,955,000) (50,000,000)	
		社債 国債 地方債 投資信託	野村證券(株)大津支店 " " "	(240,000,000) (29,801,027) (49,985,000) (17,069,574)	
		大口定期	滋賀銀行下笠支店 関西アーバン銀行草津西支店	(50,000,000) (200,000,000)	
		決済用普通預金	滋賀銀行下笠支店 関西アーバン銀行草津西支店	(2,856,305) (218,973)	
		水産加工業振興 対策積立資産	水産加工貸付金 滋賀県水産加工業協同組合	水産加工業振興事業の資産である。□ 〈特定資産計〉 1,195,467,739	
	その他 固定資産	建物	栽培漁業センター・管理棟	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり各事業及び管 理業務で使用している共有財産である。 (使用割合により97%を公益目的事業・3% 管理業務に使用している。) 243,986,375 (88,750,000)
			栽培漁業センター・生産棟・揚水機場 車庫・倉庫	"	公益目的保有財産であり、公益目的事 業に使用している。 (155,236,375)
		減価償却累計額			-139,358,561
構築物		栽培漁業センター・取水施設 養成池・給水施設等	"	公益目的保有財産であり、公益目的事 業に使用している。 321,936,405 (236,526,005)	
減価償却累計額		筏 29基	草津市北山田町地先	公益目的保有財産であり、公益目的事 業に使用している。 (85,410,400) -265,108,087	

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
車両運搬具	フォークリフト1台 自動車3台 草津市志那町字柿根1393-2 長浜市南浜町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	2,860,000
減価償却累計額			-2,859,997
什器備品	管理棟内備品 草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり各事業及び管理業務で使用している共用財産である。 (使用割合により97%を公益目的事業・3%管理業務に使用している。)	104,197,248 (6,758,000)
	生産棟内他備品 草津市北山田町地先	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	(97,439,248)
減価償却累計額			-102,504,141
船舶	作業船4隻 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	7,700,000
減価償却累計額			-7,699,998
電話加入権	077-568-3451 他3台 人工河川 高島市安曇川町北船木 長浜市南浜町	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している。	257,227 (171,022)
	栽培漁業センター 草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり各事業及び管理業務で使用している共用財産である。 (使用割合により97%を公益目的事業・3%管理業務に使用している。)	(86,205)
		〈その他固定資産計〉	163,406,471
固定資産合計			1,369,874,210
資産合計			1,381,485,728
(流動負債)			
未払金	沿整増殖場施設管理点検事業委託費他 山田漁業協同組合他	公益目的事業、管理目的事業に供する未払い分(22件) 〈未払金計〉	10,127,721 10,127,721
預り金	社会保険料他 役職員	社会保険料他 〈預り金計〉	396,240 396,240
流動負債合計			10,523,961
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職引当金である。 〈退職給付引当金計〉	45,641,860 45,641,860
固定負債合計			45,641,860
負債合計			56,165,821
正味財産			1,325,319,907

役員名簿

(平成27年6月現在)

任期：平成26年6月19日～
平成28年の定時評議員会終結の時まで

任期：平成24年4月1日～
平成28年の定時評議員会終結の時まで

役職名	氏名
理事長	田口 宇一郎
常任理事	大江 孝二
理事	磯崎 和仁
〃	遠藤 満夫
〃	窪田 雄二
〃	澤田 宣雄
〃	鈴木 良次
〃	中川 豊彦
〃	西居 悟
監事	力石 伸夫
〃	中嶋 信夫
〃	森 善則

役職名	氏名
評議員	奥村 治一郎
〃	佐野 高典
〃	鳥塚 五十三
〃	西岡 信夫
〃	松井 俊治
〃	松岡 正富
〃	望月 幸三
〃	安田 全男
〃	山中 治